

【評価実施概要】

事業所番号	175300334		
法人名	有限会社ライジング		
事業所名	グループホームいこい		
所在地	〒093 -0044 網走市天都山54番地75 0152 - 61 - 2301		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 - 0061札幌市中央区南1条西5丁目7愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成21年12月14日	評価確定日	平成21年12月24日

【情報提供票より】 (平成21年11月13日事業所記入

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 4月 26日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤11人非常勤7人常勤換算	5 . 2人

(2) 建物概要

建物構造	木 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	光熱費16000円他、実費	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	0 円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要 (11月 13日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名	
要介護 1	4 名	要介護 2	6名			
要介護 3	2名	要介護 4	5名			
要介護 5	1名	要支援 2	0名			
年齢	平均	85.9 歳	最低	64 歳	最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	網走中央病院、北原歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市内南部天都山の中腹にあり自然に恵まれた見晴らしのよい場所にあつて、平屋建て2ユニットはユニット相互に交流可能な機能性を活かして効果的なケアを行っている。採光、温湿、換気に配慮して、居室、廊下、トイレ、浴室がゆったりしつらえられたホームである。職員は明るく、利用者家族への配慮に満ち、家族の高い評価を得ている。地域との連携も運営推進会議を中心に協議され、合意のある成果を収めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	特に指摘はないが、さらなるサービスの質的向上を課題として改善をめざした運営を図っている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	職員全員が評価に参加して、利用者本位で自立支援を図るための前年度の評価を基に、さらなる改善に向けた取り組みをしている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	会議に当たっては行事、研修、事故、困難事例等を示して理解を図ると共に、地域に根ざしたホームづくりのために委員や地域の関係者の意見を的確に反映する努力をしている。しかし、開催頻度に付きさらなる検討を加えて、多様な意見や協力を求める運営を期待したい。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	運営推進会議には家族会の参加や地域の役員など身近な関係者の意見を捉える努力と、月例の家族連絡をきめ細かに行うと共に、訪問時の意見・情報交換に留意した対応を重ねて、関係者相互が開かれた環境づくりに努めている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	運営推進会議を中心にした協議を基に、地域町内会等との密接な連携を図って地域の行事やホームの行事との相互協力など、ホームの運営や利用者を支える関係を築きつつある。

2. 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域の中で一人ひとりが尊厳を保ち、その人らしく穏やかな暮らしができるよう、家族のような関係のサービスを提供する」というホーム独自の理念を作って、職員がこの理念を目指した実践に努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念に基づく実践について月例会議やケアの見直しの機会などで確認し、共有して課題に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域町内会の会員であると共に地域行事への参加、またホーム行事の周知などで相互の支援関係を大切に交流をしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	代表者をはじめ職員全員が自己評価・外部評価の意義を理解して利用者本位のサービス向上の機会として改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議はホームの行事、職員研修、事故等を報告すると共に、処遇上の課題を具体的に示して委員の意見や地域・関係機関との協力関係を得るよう働きかけて、ホーム運営に活かしている。</p>		<p>開催頻度や開催時期について更なる工夫と検討を期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>行政機関との連携を密にして会議研修に参加すると共に、包括支援センターなどの機関とも連携を図ってサービスの向上を図っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月刊の「いこい新聞」でホームで生活・行事・健康状態などの詳細な報告と共に、会計の明細書等を知らせるなど、信頼関係に留意し、訪問時には細かな相談や連絡に努めている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を年2回開催、利用者状況・事故等・行事・職員研修等を報告して、意見を運営に活かしている。また、意見箱の設置、苦情ルートの明示や、窓口を明らかにした体制をとっている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者家族との信頼関係の保持を大切にして職員は原則的に固定化し、止む終えない異動の対応には利用者・家族への周知に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年度当初に職員研修計画方針を提示して、職員の意向を聞き計画を決定している。研修後は報告を求め全職員に周知して、職員資質の向上を図っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管内のホーム連絡会に参加して相互の見学会や合同研修を行い、情報交換やサービスの向上を図っている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前の綿密な話合いやホーム見学、時に家庭訪問など情報の収集を行い、継続性を大切に、安心して利用できる条件作りのための工夫をしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家族のようなサービスを目指して、共に喜怒哀楽のできる支えあいに努めている。そのため利用者個々のアセスメントに留意して特技・得意・趣味・趣向を大切にした支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1.一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>サービスの個別性を大切にし、一人ひとりの意向・希望の把握に努め、カンファレンス会議等で共有するなど、サービスの個別化を図っている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月ごとの担当者会議で課題を提示し、職員間の課題の共有化と本人の介護計画の最適化に努め、家族の承諾を得て計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本的には3ヶ月ごとに計画の見直しを行っている。利用者の心身の変化に応じて、利用者家族の意向を確認の上、現状に応じた計画の見直しを行っている。</p>		
<p>3.多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者・家族の状況に応じた外出・買い物・通院などの送迎支援や2ユニット合同の家族ぐるみの行事等要望に応じた対応をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期的な内科・歯科の訪問診療があり、かかりつけ医との連携を図り、必要に応じた通院支援体制を整えている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末対応指針を作成して医療・家族等の同意を得て、事業所が出来る対応を協議している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の誇り・人権を損なうことのないよう言葉かけに始まり・態度などに留意し、記録の保管・管理の徹底を図っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者個々の生活のたたずまいを大切にして、利用者のペースやリズムに合わせ意向や希望・趣向に応えた支援に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の生活の反応や力に合わせて食事の準備から始末まで、出来るだけ参加できるように働きかけ、食事が皆の楽しい機会であるよう雰囲気作りにも努めている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調・希望にあわせて臨機応変に入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の生活状態に合わせた食事準備、清掃、洗濯物への係わりや趣味・出向、作品創作を進めるなど役割と場の用意に努め、時に、買い物・ドライブなど気分転換の機会も作っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者個々の生活状況に合わせながら、ホームに閉じこもらないように、職員との買い物の同行や機会を多様に捉え、職員も偏らずに外出の工夫を重ねている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自由な出入りが出来るような条件作りを基本に外出の場合も見守りに徹し、時に、家族にも周知しており、外出には家族の力も借りている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回の災害対策を職員全員で実施しており、迅速な避難誘導訓練など課題を設けて実施し、地域の協力を得るような関係作りも進んでいる。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者個々の状況に合わせた食事の提供管理を徹底して水分・栄養・量など本人の状況に応じた支援に努め、記録・管理・分析も行っている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の作品等を季節やホーム行事の様子を生活の雰囲気に合わせて展示し、共用空間を活かす工夫、居間や居室の採光・温湿・温室等の管理に留意して居心地づくりとさらに個別的な環境づくり対応をしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族と相談して個々の馴染みあるものや趣向に応じて設備を配置し、家族関係の継続的な絆の品物等に留意して居心地ある居室にするよう努めている。</p>		

 は、重点項目。